

患者のみなさんと病院をつなぐ

# かけはし

## 市原隼人、齊藤なぎさ、鈴木伸之、飯豊まりえ出演 芦屋町オールロケ映画 全国公開決定！！

芦屋町を舞台にして撮影された映画「夏の夜空と秋の夕日と冬の朝と春の風」が10月25日(金)より全国公開されることが決定しました。

近隣では、中間市の「ユナイテッド・シネマなかま16」や北九州市小倉北区の「シネプレックス小倉」で上映されます。

この映画は、日常の出会いや別れ決意などの人間模様が季節と共に力強く、そして優しく描かれており、「桜咲く頃に君と」「ナツヨゾラ」「時々もみじ色」「冬のふわふわ」の4話で構成されるオムニバス映画です。

昨年度(平成30年度)に芦屋町内各所でロケが行われ、ここ芦屋中央病院も「桜咲く頃に君と」において、ロケ地として撮影に協力しました。

みなさんが普段見慣れた場所や風景が映るかもしれません。是非ご覧ください！



※携帯電話、スマートフォンをお持ちの方は、こちらのQRコードを読み取り、映画公式ホームページをご覧ください。



### 病院開設の理念

1. 地域住民に信頼される病院
2. 地域医療機関に信頼される病院
3. 職員に信頼される病院





# 「医療・介護関連の方々との

## 第1回響灘医療連携フォーラム開催



院長 櫻井 俊弘

このたび、病院の職員と地域の医療・介護関連の方々との連携の会を始めました。芦屋中央病院は地域住民の健康を守るため地域の医院（診療所）と協力をしてきました。入院が必要な方や病院でしかできない検査が必要な方をご紹介していただき、病院での診療が一段落すれば元の医院で診療を続けていただいています。また、介護施設に入所している方が病気になれば当院に診療を依頼されることも多く、施設との協力も重要と考えております。施設間の協力のみならず、個々の職員間の連携も重要であり、良好な関係の構築に十分な配慮をしてきました。関係

をさらに深め問題意識を共有するための会を設立してはいかがとの意見が多くあり、企画検討を行ってきました。この度、関係各位の手助けをいただき、発足の運びとなりました。連携の輪を遠賀中間地区のみならず、若松区や八幡西区にも広げたいと考え、会の名称にこれらの地域にまたがる“響灘”を入れ「響灘医療連携フォーラム」としました。この会の趣旨に賛同をいただいた遠賀中間医師会、遠賀・中間薬剤師会、若松薬剤師会には共催、北九州市若松区医師会には後援をしていただくこととなりました。

7月11日に第1回響灘医療連携フォーラムを開催し、172名の参加をいただきました。演者は芦屋中央病院の竹井安子看護部長（演題名：地域に期待される緩和ケア病棟 ～1年半を経過しての当院現状報告～）、製鉄記念八幡病院の土橋卓也理事長・院長（演題名：高血圧の薬物療法と非薬物療法～新ガイドラインを読み解く～）であり、司会は遠賀中間医師会看護師会の亀石千鶴会長（遠賀中間医師会遠賀病院看護部長）、三好内科・循環器内科クリニック院長の三好恵先生にお願いしました。両講演ともわかりやすい内容で参加者に好評でした。

この響灘医療連携フォーラムは今後も1年に2回の開催を考えております。施設間交流の場を提供し知識を共有することにより、芦屋中央病院と地域の医療機関・介護施設とのさらなる連携を深め、地域包括ケアシステムの強化を目指してまいります。



製鉄記念八幡病院 土橋 卓也 理事長・院長

# 連携を強化する会を始めました」

## 地域に期待される緩和ケア病棟

当院の緩和ケア病棟は、平成30年5月より開設していますが、宗教を軸とするホスピスとは趣が異なります。患者さんや御家族が希望される場所で、限りある時間を有意義に過ごすことができるように援助するための病棟です。また当院だけでなく、他の医療機関や地域との連携を図り患者さんや御家族を支えています。

現在緩和ケア病棟は、10床前後で稼働しており、1年半で約130人の患者さんが入院されました。近隣病院からの紹介が80%以上を占めており、居住区別にみると遠賀郡内と、若松区在住の方が70%を占めています。また入院患者の約10%は、痛みのコントロールを行い在宅復帰され、その後入退院を繰り返しています。

当院では患者さんと御家族の希望があれば御家族が休むための入院（レスパイト入院）も可能です。また訪問診療や訪問看護を受けながら、自宅で人生の最後を家族に見守られ旅立つ方もいらっしゃいます。

稼働を始めて1年半、まだ課題は多く残っていますが、「地域の中でなくてはならない」緩和ケア病棟を目指し、今後も努力していきたいと考えています。



看護部長 竹井 安子

## ～響灘医療連携フォーラム参加者の声～

今回、「地域に期待される緩和ケア病棟～1年半を経過しての当院現状報告～」についての講演を聞いて、当院が緩和ケア病棟を開設するまでの過程や地域においてどのように必要とされているかについて具体的に理解することができました。がん患者やその家族は、がんと診断された時に今後の治療や生活など様々な場面において多くの不安を抱えていると思いますが、当院では患者さん自身がより自分らしく過ごしていけるように病棟内にも様々な工夫がされており、身体的な面はもちろんですが精神的な面においても多くのサポート体制が整っていることがわかりました。また、今後地域との連携という点においてボランティアなどの募集も行う予定があり、がん患者を地域全体で支えていくという地域性が備わっているということが改めてわかりました。

「高血圧の薬物療法と非薬物療法～新ガイドラインを読みとく～」の講演については、ガイドラインに沿って高血圧患者の推移や治療状況などを明確に理解することができ、保健指導をする際にも高血圧の対象者に対して具体的にどのような指導を行えばより健康的な生活を送っていけるかについて改めて学ぶことができました。今回の講演を活かして対象者一人ひとりの生活背景なども把握しながらより健康的な地域づくりができるように努力していきたいと思っています。



診療科	時間	月	火	水	木	金	土	
消化器内科	午前	櫻井	麻生	高田	三雲	高木	(交代で診療)	
	午後	高田	炎症性腸疾患 櫻井(予約制)		三雲			
肝臓内科	午前		日浦					
内科	午前			呼吸器 矢寺(第1週) 田原(第2・3・4・5週)		膠原病 宮田		
		高木	占部	日浦	占部	櫻井		
			循環器内科 北野	循環器内科 荒木	循環器内科 山岸	循環器内科 仲		
	午後	糖尿病 松下		糖尿病 松下		糖尿病 松下		糖尿病 成澤
		日浦	松下	占部	高木	占部(麻生)		
	糖尿病 松下		呼吸器 桑田	神経内科 東盛				
泌尿器科	午前	井上	井上	井上	井上	井上	井上 (第2・4週休診)	
	午後	井上 (女性専用診療)	井上					
整形外科	午前	河野	佐羽内	河野	河野	石田	産医大医師	
		佐羽内	藤谷 指(第1・3・5週) 第2・4週	佐羽内	石田	吉塚 本(第1・3・5週) 第2・4週		
	午後		藤谷 指(第1・3・5週) 第2・4週 ※午後受付15:30まで	担当医 手術の際休診	担当医 手術の際休診	吉塚 本(第1・3・5週) 第2・4週 ※午後受付15:30まで		
						13:00~15:00 骨粗鬆症 佐羽内		
スポーツ外傷・ 障害専門外来 (予約制)	午前	11:00~ 迫田	11:00~ 迫田	11:00~ 迫田	11:00~ 迫田		迫田	
	午後	迫田	迫田	迫田	迫田			
外科 (乳腺外科)	午前	水田	永瀧	水田	水田	永瀧	永瀧(第2週) 水田(第4週) (第1・3・5週休診)	
	午後	永瀧			水田			
緩和ケア外来	午前	井下			井下			
眼科	午前			西村			奥(第1・3・5週) 平野(第2・4週)	
	午後		松下					
皮膚科 形成外科	午前			石井(第2・4週)				
	午後				石井 (第1・3・5週)			
腎外来	午前	中俣(再診のみ)	中俣(新患)	中俣(再診のみ)	中俣(新患)	中俣(再診のみ)		

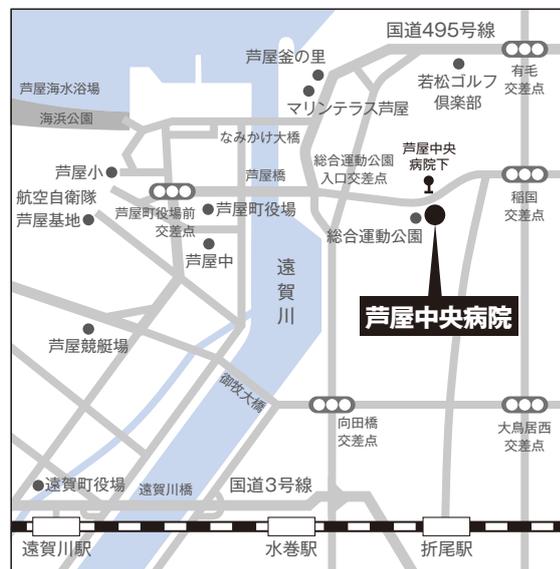
※午後は手術のため休診になることがありますので、ご来院の前に電話にてお問い合わせください。

受付時間	午前 [月曜~金曜] 8:00~11:30 [土曜] 8:00~11:00 ※新患の受付は8:30~となります。
	午後 [月曜~金曜] 12:30~16:00 (リハビリは18:00まで)
スポーツ外傷・ 障害専門外来 初診受付時間	[月曜~木曜] 11:00~17:00 [土曜] 9:00~11:00

地方独立行政法人  
**芦屋中央病院**  
Ashiya central hospital



〒807-0141 福岡県遠賀郡芦屋町大字山鹿283番地7  
TEL 093-222-2931(代)  
FAX 093-222-2176(代)  
FAX 093-223-0301(地域連携室)  
e-mail hospital@ashiya-hp.jp  
URL: http://www.ashiya-central-hospital.jp



・JR遠賀川駅から芦屋タウンバス「中央病院・遠賀川駅」にて「芦屋中央病院玄関前」バス停下車  
・JR折尾駅から北九州市営バスにて「芦屋(第2要屋)」または「芦屋(鶴松団地)」行きにて「芦屋中央病院下」バス停下車